

# 研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 通信）

事業者名：公益社団法人 長寿社会文化協会

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		実施計画			
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数		実施内容	
<b>1 職務の理解</b>	<b>6時間</b>	<b>1 職務の理解</b>	<b>6時間</b>	<b>1 職務の理解</b>	
(1) 多様なサービスの理解		(1) 同左	4	(1) 講義及び演習：介護保険、介護保険外のサービス内容、職務内容はどんなものがあるかグループディスカッションを行いリーダーが発表する	
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 同左	2	(2) 講義のみ	
<b>2 介護における尊厳の保持・自立支援</b>	<b>9時間</b>	<b>2 介護における尊厳の保持・自立支援</b>	<b>9時間</b>	<b>2 介護における尊厳の保持・自立支援</b>	
(1) 人権と尊厳を支える介護		(1) 同左	5	通信講習・講義及び演習：高齢者虐待防止策についてグループディスカッションを行いリーダーが発表する。	
(2) 自立に向けた介護		(2) 同左	4	(2) 通信講習のみ	
<b>3 介護の基本</b>	<b>6時間</b>	<b>3 介護の基本</b>	<b>6時間</b>	<b>3 介護の基本</b>	
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 同左	1	(1) 通信講習のみ	
(2) 介護職の職業倫理		(2) 同左	2.5	通信講習・講義及び演習：介護職員としての倫理の必要性、社会的責任についてテキストの事例をもとにグループディスカッションを行いリーダーが発表する。	
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 同左	1.5	通信講習・講義及び演習：介護におけるリスクに気づき緊急対応の重要性を理解する。	
(4) 介護職の安全		(4) 同左	1	(4) 通信講習のみ	
<b>4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携</b>	<b>9時間</b>	<b>4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携</b>	<b>9時間</b>	<b>4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携</b>	
(1) 介護保険制度		(1) 同左	3	通信講習・講義及び演習：介護保険制度の仕組みについてグループディスカッションを行い、リーダーが発表する	
(2) 障害者総合支援制度及びその他制度		(2) 同左	3	(2) 通信講習のみ	
(3) 医療との連携とリハビリテーション		(3) 同左	3	(3) 通信講習のみ	
<b>5 介護におけるコミュニケーション技術</b>	<b>6時間</b>	<b>5 介護におけるコミュニケーション技術</b>	<b>6時間</b>	<b>5 介護におけるコミュニケーション技術</b>	
(1) 介護におけるコミュニケーション		(1) 同左	4.5	通信講習・講義及び演習：三人一組で（利用者役・介護者役・観察者）高齢者介護における共感・受容・傾聴の態度のロールプレイングを行うコミュニケーションの技術を体験する。	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		(2) 同左	1.5	(2) 通信講習のみ	
<b>6 老化の理解</b>	<b>6時間</b>	<b>6 老化の理解</b>	<b>6時間</b>	<b>6 老化の理解</b>	
(1) 老化に伴うこととからだの変化と日常		(1) 同左	4.5	通信講習・講義及び演習：高齢者疑似体験セットを用いて高齢者のからだの変化を体験し、具体的な体の違いについてをグループディスカッションを行いリーダーが発表する。	

(2) 高齢者と健康			(2) 通信講習のみ
<b>7 認知症の理解</b>	<b>6時間</b>	<b>7 認知症の理解</b>	<b>6時間</b>
(1) 認知症を取り巻く状況		(1) 同左	1
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		(2) 同左	2.5
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		(3) 同左	2.5
(4) 家族への支援		(4) 同左	1
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		(3) 同左	2.5
(4) 家族への支援		(4) 同左	1
<b>8 障害の理解</b>	<b>3時間</b>	<b>8 障害の理解</b>	<b>3.5時間</b>
(1) 障害の基礎的理解		(1) 同左	2.5
障害の医学的側面、生活障害、 (2) 心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		(2) 同左	0.5
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		(3) 同左	0.5
(1) 障害の基礎的理解		(1) 同左	2.5
障害の医学的側面、生活障害、 (2) 心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		(2) 同左	0.5
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		(3) 同左	0.5
<b>9 こころとからだのしくみと生活支援技術</b>	<b>75時間</b>	<b>9 こころとからだのしくみと生活支援技術</b>	<b>75時間</b>
<b>ア 基本知識の学習</b>	<b>10～13時間</b>	<b>ア 基本知識の学習</b>	<b>10時間</b>
(1) 介護の基本的な考え方		(1) 同左	2
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解		(2) 同左	4
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解		(3) 同左	4
<b>イ 生活支援技術の講義・演習</b>	<b>50～55時間</b>	<b>イ 生活支援技術の講義・演習</b>	<b>58時間</b>
(4) 生活と家事		(4) 同左	5
(5) 快適な居住環境整備と介護		(5) 同左	6
(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(6) 同左	6
(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(7) 同左	12
(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(8) 同左	6
(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(9) 同左	6
(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(10) 同左	6
(4) 生活と家事		(4) 同左	5
(5) 快適な居住環境整備と介護		(5) 同左	6
(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(6) 同左	6
(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(7) 同左	12
(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(8) 同左	6
(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(9) 同左	6
(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(10) 同左	6
(1) 介護の基本的な考え方		(1) 通信講習のみ	
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解		(2) 通信講習のみ	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解		(3) 講義及び演習：高齢者の介護におけるボディメカニクスの活用を体験し、又バイタルチェックを利用者役と介護者役にわかれて行う。	
(4) 生活と家事		(4) 講義及び演習：買い物支援の事例をもとに利用者役と介護者役にわかれて、ロールプレイを行う。	
(5) 快適な居住環境整備と介護		(5) 講義のみ	
(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(6) 講義及び演習：衣服の選択、着脱、身じたく、整容行動、洗面などの実技演習を行う	
(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(7) 講義及び演習：体位変換・姿勢の保持・移動・移乗介助（車いす・スライディングシートなど）の実技演習を行う。	
(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(8) 講義及び演習：ベッド上、テーブルでの食事介助、口腔ケアの介助などの実技演習を行う。	
(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(9) 講義及び演習：全身清拭・洗髪・手浴・足浴・陰部洗浄（服をきたままベッド上で）などの実技演習を行う。	
(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		(10) 講義及び演習：排泄の関連用具について扱い方、オムツ交換・ベッド上での排泄介護、ポータブルトイレにての排泄の実技演習を行う。	

(11) 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(11) 同左	6	講義及び演習：快適な睡眠環境の整え方、
(12) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	(12) 同左	5	(11) ベッドメイキングの技術、褥そう予防などの実技演習を行う。
(実習) ※ (50～55時間中12時間以内)	(実習) ※		(12) 講義のみ
介護実習 ○時間			(実習) ※
ホームヘルプサービス ○時間			
在宅サービス提供現場見学 ○時間			
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	ウ 生活支援技術演習 10時間		ウ 生活支援技術演習
(13) 介護過程の基礎的理解	(13) 同左	4	通信講習・講義及び演習：グループにわかれて個別援助計画の作成を行い、リーダーが発表する。
(14) 総合生活支援技術演習	(14) 同左	6	通信講習・講義及び演習：事例をもとに支援する内容をグループディスカッションし実技演習を行う。
<b>10 振り返り 4時間</b>	<b>10 振り返り 4時間</b>		<b>10 振り返り</b>
(1) 振り返り	(1) 同左	2	講義及び演習：全過程を振り返り、研修を通じて学んだこと、習得したことについて、二人一組で発表しあう。
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	(2) 同左	2	(2) 講義のみ
追加カリキュラム			
<b>計 (130 時間)</b>	<b>計 (134.5時間)</b>		

※ 「9ところとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。